

## 血液内科

---

### 1 集合時間・集合場所

- (1) 集合時間 8:00
- (2) 集合場所 A病棟2階カンファレンスルームさくら  
(ただし、初日が火曜日の場合は8:30にC病棟8階スタッフステーション集合)

(※抄読会・レクチャーをオンラインで実施の場合)

- 1) 集合時間 11:00
- 2) 集合場所 みらい棟3階資料室

### 2 実習概要（実習内容）

クリニカルクラークシップによる研修を行う。

指導医の指示に従って、組み込まれたチームの一員として、指示された入院患者の準主治医として臨床実習を行う。主治医・指導医の協力の下に、毎日受け持ち患者さんの問診や診察を行い、検査所見などを考察し、プロブレムリストを作成し、それに基づいて病状や病態について理解する。

毎朝、主治医により受けもち患者さんについて検査や治療方針について確認し、その後の回診に同行する。毎日担当患者を診察し、POS方式により診療録に記載をする。担当患者以外の患者さんの診察も指導医・担当医の許可を得て積極的に行う。毎日、夕方にその日に学習したこと、疑問などを担当医(当番制)に報告し、ディスカッション、習熟度の確認を受ける。これらのことを通じて、日々の研修で理解した患者さんの病状や病態について、プレゼンテーションする能力を身につける

採血、骨髄穿刺、骨髄生検、腰椎穿刺、中心静脈ルート確保、血液培養などの検査・手技が行われる場合には、見学し、適応や危険性などについても理解する。  
身体診察手技、血液培養採取法、抹消血骨髄標本の検鏡などの小レクチャーを期間中に行う。

### 3 G I O（一般目標）

臨床実習を通して以下の必要な考え方・知識と技術を習得する

1. 血液疾患・腫瘍患者の診察およびその留意点
2. 血液疾患の診断と治療の考え方とその実際

### 4 S B O（到達目標）

- (1) 問診，身体所見，検査所見などから総合的な診断を行うことができる。
- (2) 病歴聴取を含めた基本的診察法を身につける。
- (3) 検査法の概要を理解し，適応や所見の解釈ができる。
- (4) 末梢・骨髄血液標本から得られる異常所見を理解する。
- (5) 腫瘍患者の基本的な画像所見を理解する
- (6) グラム染色など感染症に対する基本的手技の実際および治療を理解する
- (7) 標準的治療法を理解し，適応について判断することができる。

## 5 スケジュール

### < 1 週目 >

毎朝 8 時 30 分 C 病棟 8 階多目的室に集合

(月曜日のみ、8 時 00 分に A 病棟 2 階カンファレンスルームさくらに集合)  
スケジュール表がオリエンテーションのときに配布されるので、確認する。

月：午前 抄読会・オリエンテーション  
午後 病棟回診・入院患者カンファレンス (新患紹介)  
火：午前/午後 病棟実習・ミニレクチャー  
水：午前/午後 病棟実習・ミニレクチャー、  
木：午前/午後 病棟実習・ミニレクチャー  
金：午前/午後 病棟実習

### < 2 週目 >

毎朝 8 時 30 分 C 病棟 8 階多目的室に集合

(月曜日のみ、8 時 00 分に A 病棟 2 階カンファレンスルームさくらに集合)

月：午前 抄読会・病棟実習  
午後 回診・入院患者カンファレンス  
(2 週目の回診時には主治医の代わり受け持ち患者のプレゼンテーションを行う)  
火：午前/午後 病棟実習・ミニレクチャー  
水：午前/午後 病棟実習・ミニレクチャー、骨髄標本勉強会  
木：午前/午後 病棟実習  
金：午前 病棟実習  
午後 総括・評価

(担当教員や実習内容については、担当グループ毎に初日に説明する)

(※レクチャーをオンラインで実施の場合は、朝レクチャーの後 11 時前後に病院集合)

## 6 評価法

診療記録，プレゼンテーション，口頭試問，レポート，出席状況，実習態度などを総合的に評価する。

## 7 その他の注意事項

服装，マナーに注意してください。

患者さんのプライバシーの尊重と情報の守秘義務を守ってください。

病棟のコピー機は業務用ですので、私用で使用しないでください。

病棟にある書籍は無断借用禁止です。借用の際は指導医に申し出てください。

病棟では免疫の低下した患者さんも多いため、感冒症状や発熱がある時には、その日の実習開始前に必ず指導医に報告してください。

臨床実習の目的は、座学では得られない診察技術とそれを通じた考え方を身につけることです。担当患者以外でも興味がある患者さんの診察は、積極的に申し出てください。症例を通じて、知識・技能を点から線、線から面に広げていってください。